

雇用対策を

一本化した窓口を設ける

問

今日、長引く不況の中で住民の方々の雇用・収入源の不安がますます深刻の度を増しています。

①町民税の税収状況はどうなっていますか。

古賀市・志免町は雇用対策の取り組みをしています。古賀市では、市民の就労を支援するため「古賀市無料職業紹介所」を開設されています。

②須恵町では緊急雇用対策事業を実施してありますが、現在の実施状況はどうなっていますか。



百田 輝子 議員



古賀市庁舎内に開設されている「無料職業紹介所」

ますか。

③古賀市のような取り組みが是非必要だと思えますが、町長はどのように考えますか。

答 今泉総務課長

①税収の状況として、町民税は年間に3700万円程度減収が見込まれ、法人税については企業数が多い関係で

1500万円ほどの増収を見込んでおり、トータルでは若干下がる予定です。

②緊急雇用対策の実施状況は県の緊急雇用創出事業、臨時特例基金事業の補助金を活用して、平成21年度から23年度まで、緊急雇用事業で4970万円、重点分野雇用創出事業として4430万円、合計9400万円に上る雇用対策事業を実施し、辞職を余儀なくされた非正規労働者や、中高年齢者の失業者を、123人新規雇用しております。

答 中嶋町長

③雇用対策で、現在企業誘致はまちづくり課が担当し、商工会の振興及び就職斡旋については建設産業課が担当しています。

今後町の方で一本化した窓口を設け、係を置きます。

また、町民の方にも広報・PRができるような形で、商工会・企業組合・行政と三者が一体となり対応していきます。

職員のコミュニケーション能力の向上を

研修を行っていく

問

須恵町では、町全体にあいさつが飛び交う町になるように「オアシス運動」の推進をしています。

各行政区にオアシス通りが設置されており、幼児から高齢者まで、この「オアシス通り」を中心にあいさつを交わすことにより、須恵町の住民の輪が広がっていくことが期待されています。

しかし、このオアシス運動、庁舎内では実施されていますか。

たかが「あいさつ」されど「あいさつ」こんなところから職員のコミュニケーションの意識改革をされてはどうでしょうか。

「あいさつ」こんなところから職員のコミュニケーションの意識改革をされてはどうでしょうか。

答 中嶋町長

あいさつは人と人のコミュニケーションの基本、人間関係の始まりであり大切なものであると思います。

スポーツ大会、地域の行事等には極力参加し、運営に当たるよう指導していますが、町職員の中にもあいさつが苦

手な者が何人かいたり、組合に未加入の職員がいますので、オアシス運動の推進とともに今後も指導していきます。

職員のコミュニケーション能力をつけるための研修は、職員研修基本計画というものがあ、全体の奉仕者としてコスト意識をもって行動する

職員・町民の目線で考え実践できる職員・確かな時代認識に立ち、制度や政策を企画立案し責任をもって実行する職員・幅広い視点から柔軟に改革できる職員、これらの事を基本に職場内あるいは職場外研修を行っています。



松山 力弥 議員



庁舎職員「朝礼」の様子